

August 23, 2011

## JNSUは2011年秋学期のためのエキサイティングな計画を持っています



Yoshi Mizuno/TNE

Visitors are fascinated with calligraphy at first JSNU event.

YOSHI MIZUNO  
TNE STAFF WRITER

今年で活動開始7年目を迎えたJNSU。「米国人への日本文化の普及」を目標に、今学期もバラエティーに富んだ学内文化交流イベントを開催する。

2011年11月に開催され、大盛況だった「祭」シリーズが今年も開催されることが決まった。「祭2011」は11月19日にUCボールルームで開催され、今年も昨年以上の充実したブースが来場者に提供される。祭では、毎年おなじみの書道・おりがみ・ゲームブースなどが用意される。昨年の祭にはなかった「お茶ブース」は、来場者にタレクアではお目にかかれない抹茶を提供する。

JNSUでは、2008年まで開催されていた「NIPPON」に代表されるように、観る者を圧倒するパフォー

ーマンスがイベントの中心となる。今年も日本の伝統舞踊から、最新の流行文化を取り入れたパフォーマンスまで、祭では様々な顔を持つ日本文化が披露される。

会長の掛川裕貴さん（長野県出身、大学4年）は大学入学直後からJNSU会員として積極的に活動する一人で、会長としても今期

で通算2期目を迎える。掛川さんは今回の祭で「日本文化を見せるだけではなく、（来場者に）肌で感じてほしい」と熱く語る。日本人留学生の減少とともに、JNSUも人員減などの厳しい運営状況だが、掛川さんのJNSUにかける意気込みは誰よりも熱い。

今期からJNSU副会長を務める大橋茜さん（愛知県出身、大学4年）は、祭の書道ブースの班長として書道の魅力を訪れる人々に伝える。大橋さんは「米国でも書道が続けたくて、JNSUなら何か書道に関係したイベントにも参加しやすいと思った」と入会したきっかけを語る。

大橋さんは書道や参加するよさこいソーラン節の活動を通じて、いかに素晴らしいものかを伝えていきたいと熱く語る。

JNSUで長年顧問を務める一人のトマス・サモン博士（眼科教授）は、米国人の父親と日本人の母親を持つ日系米国人。JNSUの活動に助言やサポートを行っている。

サモン博士は「来場者の方々には日本文化を学び、そして同時に楽しんでもらいたいです。私自身はもちろん日本人も文化も大好きですし、ほかの方にもいかに楽しいものかを知ってもらいたいです」と語る。

昨年に引き続き、カレ

ーブースもUC前に出店する。日本人だけでなく、多くの現地学生からも大変好評を得ている。カレーはできる限り温かいうちに提供されるので、タレクアでは食べられない「日本のカレー」が手軽に楽しむことができる。カレーブースは9月からUC前にて販売が開始され、価格は2ドル。収益はJNSUの運営費として賄（まかな）われる。

またJNSUでは、よさこいソーラン節へのイベント出演オファーも受け付けており、こちらも目が離せない。詳細はJNSUホームページ（<http://arapaho.nsuok.edu/%7Ejnsu/>）まで。

## Normal Club Cleaners

Bring it in by 9 a.m. out by 5 p.m.

- Quick Service
- Expert Garment Alterations
- Professional Drapery Cleaning

Mon-Fri 7:30 a.m. - 5:30 p.m.  
Saturday 8:00 a.m. - Noon  
Sunday Closed



456-3671

306 S. College

*Our Emergency Room wait times  
are less than half the national average.*

This means you get help faster  
than at other hospitals.

Lista Critenden, RN

(918) 456-0641 [www.tch-ok.org](http://www.tch-ok.org)

1400 East Downing • Tahlequah, OK 74464



Download a free code  
scanner to your smart  
phone to learn more!



Your Healthcare Provider of Choice

